

「イランカラブテ」キャンペーンについて

- アイヌ語の挨拶「イランカラブテ」(こんにちは)を、**北海道のおもてなしのキーワード**(ハワイの「アロハ」、沖縄の「めんそーれ」のような)として普及させることを目指すパイロット・プロジェクト
- 平成25年7月に推進協議会を立ち上げ、キャンペーンを開始**
- 平成25年度～27年度の3年間を重点実施期間とし、以降も継続**

【キャンペーン推進体制】

推進協議会

● 内閣官房、国交省北海道局
● 北海道運輸局、同経産局等
● 北海道等関係自治体
● 北海道大学、札幌大学
● アイヌ文化財団、アイヌ協会
● 北海道観光振興機構等

働きかけ
参画を
かけ

サポーター

- キャンペーンの趣旨に賛同する民間企業・団体等

- サポーターに対し、ロゴマーク・キャッチフレーズの使用を推奨(但し義務付けはしない)
- 具体的な取組についてはサポーターの自由な発想、創意工夫を尊重

【取組内容(例)】

- ◆ロゴマーク・キャッチフレーズの作成、「イランカラブテ」の表示
 - キャンペーンの一体感・統一感を確保するため、ロゴマーク・キャッチフレーズを作成。民間企業等にその使用を推奨。
- ◆専用webによるプロモーション
 - アイヌ文化・関連イベント等を情報発信
- ◆各種パブリシティの実施
 - 啓発ツール(ポスター、多言語パンフレット等)、広報用映像
 - 空港デジタルメディアによる広報(国内線手荷物受取所のモニターで放映)
- ◆空港、駅など公共の場における展示の充実・文化体験イベントの開催
 - 新千歳空港に加え、新たに釧路空港で実施
 - 展示のほか、古式舞踊披露等のイベントを開催
- ◆新聞、雑誌、TVなどマスメディアの露出に向けた働きかけ
 - キックオフセレモニーを新千歳空港で開催

【スケジュール】

▶ 平成25年度～27年度の3年間を重点実施期間

Phase1
H25.4～H26.9

- 推進協議会の立ち上げ
- サポーター拡大に向けた取組
- 公共施設など中長期的な掲示等が可能な箇所へのプレゼンスを確保

Phase2
H26.10～H28.3

- サポーターの増加
- 全国各地でのプロモーションを検討

Phase3
H28.4～

- 「イランカラブテ」が北海道のおもてなしのキーワードとして定着
- 「イランカラブテ」を契機とするアイヌ文化への関心の高まりに対応したコンテンツを提供

(「イランカラブテ」の表示の機会を創出:写真はフラッグ)

(デジタルメディアの活用)

(空港展示の充実)